

商 況

販賣旬報 第 150 號 昭和 6 年 1 月 21 日  
製鐵所販賣部

年 頭 言

1) 販賣旬報も創刊以來齡 150 を重ね、昭和 6 年の春を迎ふることゝなつた。

「本年はどうか」。此問題は年々歳々其初頭に當つて常に各人の腦裡を往來する問題である。本年は一般經濟界に於ても判斷の基礎の相異により樂悲兩論が盛に論議されて居るが我鐵鋼界も當然此の雰圍氣に超然たるを得ざる處か特に本年は各方面に互つて深刻なる觀察を切要とせられる情勢と云はれて居る。其判斷の材料として再び除夜の鐘の響を越えて昨年及過去の趨勢を參考に羅列するが、其によつて本年に於て鬼を出すか蛇を出すかは各の頭の中にあることで我等の喋々を要しない事である。

2) 昭和 5 年 1 月 11 日の金解禁は日本全般に重大なる影響を興へたが其價格に於て輸入値段を基礎に置く鐵鋼界は豫て期したることゝは云へ、相當の打撃を蒙つた事は蓋し已むを得ない事である、然し此金解禁は一面鐵鋼界を安定せしむる材料となつたのである。今てこそ何等關係を持たないが此以前に於ては爲替と C.I.F と内地値段の三者を考慮しなければならず甚だしく複雑なものであつたのが爲替だけは殆んど度外視し得る様になつたのである。

一方所謂世界的不景氣なるものは 1 年間を通じて世界を捲席し我と最も密接の關係を有する歐洲鐵鋼界も月と共に下表の如く落潮の度を深刻ならしめた。

棒鋼ベース C.I.F

	昭和 3 年	昭和 4 年	昭和 5 年
1 月	6-7-0	7-12-6	6-10-0
2 月	6-10-0	7-15-6	6-11-0
3 月	6-16-0	7-14-0	6-13-3
4 月	6-14-0	7-13-0	6-12-9
5 月	6-18-6	7-7-0	6-12-0
6 月	7-7-6	7-6-0	6-9-6
7 月	7-4-0	7-3-6	6-1-0
8 月	7-8-6	6-19-6	5-16-0
9 月	7-15-0	6-17-6	5-12-6
10 月	7-15-9	6-10-0	5-10-6
11 月	7-13-0	6-12-0	5-4-0
12 月	7-14-0	6-10-6	5-7-6

又内地一般の經濟界も世界的機構の一部を形成する以上此世界的不景氣の影響を受くること甚だなりし上、金解禁による消費節約の徹底と相俟ちて層一層消費力を減退せしめた感がある。従つて間屋筋の買氣は地を拂ひ志

氣は全く沮喪した其間の消息は當所の先物申込数量を一瞥すれば實に明瞭に證據立てられる。

昭和 3 年以後條鋼、鋼板當所先物申込數量(申込月別)

	昭和 3 年	昭和 4 年	昭和 5 年
1 月	27,098	29,344	4,641
2 月	35,181	27,178	2,319
3 月	29,397	31,243	21,931
4 月	32,904	39,260	29,416
5 月	34,738	27,695	21,478
6 月	49,241	25,024	9,165
7 月	46,178	19,340	1,860
8 月	48,473	46,980	} 限月短縮
9 月	58,956	23,255	
10 月	45,950	32,091	
11 月	26,114	16,946	97
12 月	16,758	6,618	10

即ち昭和 5 年は官民分野の決定した 9m/m を中心としての思惑買と當所定期契約が切れた 3、4 月頃に 2 萬噸臺を出現したが其後市況の悪化に伴ひ遂に未曾有の限月短縮を出現し近來は殆んど其影を没するに至つたほど悲惨な状態となつた。

3) 此需要激減に處して供給方面は如何なる對策を講じたるや、先づ當所に於ては頭初の鋼材 100 萬噸生産計畫に對し 6 月に於て 25% の第 1 次減産を斷行し、猶之が消費力に添はざる爲 12 月より第 2 次減産としての年初の計畫の 35% を減産した、また民間に於ても鋼材聯合會は丸鋼の基本數量 29 萬噸に對し 6 月迄は 3 割減産を以て喰止めたるも滔々たる大勢に押されて 7 月より遂に 5 割減産を繼續することにした。

又輸入に就ては神戸、横濱、大阪の 3 港のみにて昭和 4 年が約 62 萬 5,000 噸なりしものが昭和 5 年は約 32 萬噸と 30 餘萬噸の輸入減を出現した。特に 11 月 12 月は殆んど 1 萬噸に近き僅少な數字となつた、それにも係らず鐵價は益々沈滞し其指數を見ても下落の一途を辿り、別表の通り一般物價の總平均は 5 年 1 月に比し 11 月は 19.5% の下落なるに鐵價はそれより甚だしく下廻り 25% の下落である、如何に鐵鋼界が受難の年であつたかは此一事でも充分窺ふことが出來よう。

昭和 5 年	鐵價指數	物價總平均指數	昭和 5 年	鐵價指數	物價總平均指數
1 月	92	201	7 月	84	177
2 月	89	200	8 月	81	176
3 月	87	196	9 月	76	172
4 月	87	193	10 月	75	165
5 月	87	189	11 月	69	162
6 月	86	181			

備考 明治 33 年基準

4) 日本に於ける鐵鋼界の構成は大體に於てメーカー、4社、問屋に盡きる、去年中此三者は何を爲したか。

メーカーに就ては一言に云へば協調に終始したと云へよう、成否は兎に角此年問題となつたのは、棒鋼、山形鋼の官民分野の協定を初めとし厚板、中板、薄板、線材の各種組合の企畫である、其内棒鋼の官民分野は兩者の協調により成立し、又9月に於ては川崎、八幡、徳山、中山、日鋼、五社間に薄板の共販組合の成立を見、線材に就ては八幡、神戸製鋼の兩者間に於て漸定的協定を見、本年に入ると共に共販成立の見込である、又中板に於ては八幡、東海鋼業間に共同販賣の協定が出来たのである。

要するに現在残されたる難關は山形鋼と、厚板である、之が今年の懸案である。

四社は元來輸入商である、然し現在の如く輸入減退の大勢に對しては、當然其方向を轉換して資力の背景、信用により内地メーカー問屋間に介する經濟學上の所謂問屋の機能を益々發揮する様になつた。

然らば市中間屋は如何、之れもその昔鐵鋼の需要の微々たりし時代は金物部の一小部分としての存在に留つたが、歐洲大戰により急劇なる發達を遂げ、然も内地生産が僅少にて遠く海外より其大部分の供給を仰ぎし爲め思惑と在庫品により一攫千金を實現したのである、然し今日の如く輸入は30萬噸に減じ手近かの内地メーカーが200萬噸を生産するのに、やはり昔の組織のまゝで何等の進歩もなく「親睦を計るを目的とす」以外の組合は殆んど存在するなく「滅び行く問屋」の聲に一度は慄たものゝ75日過ぐればこれも昔の夢にて、またも舊阿蒙と化して、我利と排地以外何物も残さぬ存在となつたといふ噂を耳にもする。只大阪に於ける鋼材商會と東京の三鋼會が其片鱗を窺せるばかりである。

曉天颯爽たる英姿を朝風に打たせて馬を陣頭に進むる勇士はなきか、然らざれば潔よく其陣營を4社に委して小賣の孤壘を守るより外、策はあるまい。

5) 歴史は單なる懷古の對照ならず、其目的は過去現在の事實を知り之を以て將來を判斷すべき基礎となすに在る。

今日の此消費減の現象が將して本體なるや否や、今日の此供給減が行き過ぎはせぬか或は未だ不足なるや、などと云ふ現在の事實と此處に列べた過去の實相とを結び付くる時其處に我等の行くべき道と、其趨勢を窺ふことが出来るではあるまいか。

### 昭和5年中本所鋼材輸出の回顧

1) 我製鐵業があくまでも内地市場のみに局限した自

給自足を標榜する限り結局は需給の弾力性を缺いて市況好調に際しては輸入思惑を誘發し、悲況となつては供給過剩の煩悶を免れ難いこととなり、又一面に於いては現狀以上の斯業の發展を期待し得ぬであらう。

昭和3年の夏頃、かくの如くして鋼材輸出論が擡頭した。しかし當時の内地市況の活況は幾許もなくしてこの輸出論を終熄せしめて遂に實行に及ばなかつたのであつた。

2) 昨年初め、内地市場が漸く不況に沈まんとしてゐた頃、滿鐵に對し重軌條輸出契約が成立した。閑散をかこつてゐた本所軌條工場は年初より陽春4月にかけて俄に繁忙となり、3萬噸を超えるマル、エス軌條が廣漠たる滿洲を目指して陸續運び出された。實に我國製鐵業創設以來の大量輸出であつたのみならず、昨年鋼材輸出中の白眉であつた。

3) 内地市價が下落の一途を辿り、八幡にストックが漸増の趨勢に連れて、昨年6、7月の交、普通鋼材にも初めて輸出の氣運が動き、小量宛大連方面に向けられた困難であらうと思はれた普通鋼材の輸出が、やがて案外大きな波紋を畫きつゝ進展した。寧ろ其勢は燎原の火の如きものであつたかも知れない。定期契約を結び年度契約をなし、輸出分野の協定すら試みて、合理的輸出を策した。昨年末に至る約半歳の成績は下表の通りであつて其總量實に1萬噸を突破して居る。

向先別輸出數量

大連、牛莊	5,662	浦	鹽	1,855
天津、青島	1,132	新嘉坡	他	367
上海、漢口	3,178	合	計	12,550
香港、廣東	351			
月別輸出高				
6月	1,121	10月		2,535
7月	2,303	11月		1,680
8月	500	12月		3,657
9月	754	合計		12,550

以上の外に昨年中黑板共販組合により本所黑板の輸出高が1,900噸に及んでゐる。

2、3月積先物協議會 昭和6年劈頭の2、3月積當所先物協議會は1月17日東京出張所に開催せられた。

### 2、3月積先物協議會

品種\區分	入電沖着	河岸着値段 (爲替%一%)	希望	決定	備考
棒鋼 ベース	5-6-0	72'16	65	65	据置
丸鋼 徑 9m/m	5-10-0	74'09	65	65	"
中小型山形鋼	5-4-0	71'19	67	67	"
大型山形鋼	5-4-0	71'19	70	70	"
工形鋼	4-19-0	68'77	69	70	"
溝形鋼(吋サイズ)	5-15-0	76'53	70	70	"
"(耗サイズ)	4-18-0	68'13	69	70	"
鋼板 6m/m以上	5-16-9	77'37	70	70	"
" 2'3 m/m	6-2-0	84'91	82	82	"
" 1'6 m/m	6-4-6	86'12	86	86	2圓下げ

鉄力板 100 lbs	0-18-3	972
" 170 lbs	1-12-9	1740
鋼板 4.5m/m	5-17-0	7749
" 3.2m/m	5-18-9	7834
線材 B.W.G. No 5	6-13-0	7977
黒薄鋼板	12-5-0	15693

不況を映して熱もなく、外注値段と照合し鋼板 1.6mm 2 圓下げの外全部前月通り据置と決定した。

猶輸出物安値に引かれて内地値段に影響するなきやの質議ありたるも、製鐵所としては物によりては内地物より高値に受注しあるものもある程にて何等杞憂すべきことなきと回答せり。

### 昭和 5 年中の 3 港輸入 附 12 月中 3 港輸入

1) 不況に終始した昭和 5 年の鋼材輸入數量は、掛値なく激減である。

遡つて昭和 4 年は好況の昭和 3 年に比し 7 萬餘噸の輸入減であつたが、昭和 5 年に於ては 4 年の約 63 萬噸に比し約 32 萬噸と云ふ半減に近い僅少な數字を記録した。これには勿論内地生産の増加もあらうが主要なる原因はやはり深刻なる需要減にあるものと考へられる。

例外として不等邊が 300 餘噸増加した事と、内地生産のないシート、パイルが此の不況に逆行して 5,000 噸の輸入増を見た外は、軒並み全部減少した。

2) 例によつて品種別に眺めると、

丸鋼は 1/3 の 1 萬 9,000 餘噸となつた、それは昭和 4 年が例の細丸奔騰の煽りを受けた爲 6 萬 2,000 噸と云ふ過剰な輸入を見た爲で、此 1 萬 9,000 噸でさえ、まだまだ減少の餘地はあらう。

角、平の減少も當然であるが、型钢は不等邊の増加と云ふ變態の状況を表はした外、溝形は半減し工形は 1/3 に減少した。

是等條鋼の 5 年の輸入總計は 5 萬 7,531 噸となる、條鋼の需要が大凡 100 萬噸と見て其約 6%の輸入であるが常態として如何程の輸入が必要であるか 研究すべき問題と思はれる。

妖氣を含んで居て、我々の判断を許さないものは鋼板 (0.7mm 超) である。あれだけ過剰に喘ぎながら、昭和 4 年で 5 萬噸昭和 5 年が 3 萬 7,000 噸の輸入があつた。内所謂厚板は少くも 1 萬噸を下るまい。如何に一時的の好況に刺戟されたとして此も如何に造船用があるにした處がどうも理屈に合はない様な氣がしてならぬ。

鋼板 (0.7 mm 以下) も同様、どうしても間歇的輸入の跡は絶つことは出來ず結局 3 萬噸近くの輸入となつたが、4 年の 8 萬噸に比すれば非常なる減少である。

鉄力は悪い悪いと云ひながら 5 萬噸、此内 WW の輸入が近來特に目に付く様になつたと云はれて居る、不景

氣になると、どうしても安からう悪からうて間に合せる模様である。

軌條は遂に 1 萬噸以下に下つた。不況もさる事ながら統制の威力も蓋し偉大なるものである。

刮目に値するは線材である、14 萬噸が 6 萬噸に減じた、消費の減少と内地生産の増加の結果である、本年も減少させたいが、2 月 3 月に相當輸入の聲もあつて七不思議の本領を遺憾なく發揮して居るのは残念である。

目醒ましいものにシート、パイルがある、他鋼材は 1/3 とか半減とか云ふ中にあつて獨り巍然として進出し此不況に際しても猶前年に比し 5,000 噸の増加で、殆んど 3 萬噸の壘を摩せんとして居る。

鋼管も半減以下となつたが、未だ需給の均衡を得ぬと云はれて居る。

3) 5 年に於ける内地供給高が分明せぬ間は此の輸入に就ても其多寡等を云爲することは早計であるが、兎に角 30 萬噸の輸入減を見たことは喜ぶべき現象である。

附 12 月の輸入 今日の状態ではどう勘定して見ても 1 箇年の鋼材輸入は 20 萬噸を下ることが出來ない様に思はれるのに 11、12 月の輸入は 1 萬 1,200 噸の間を往復して極度の輸入減を示して居る。

12 月の條鋼輸入は 1,582 噸で、11 月の 1,550 噸と殆んど變つて居ない特に型钢は溝形鋼を除いては全部造船材料であるから、普通型物の輸入は掛値なく全減と云ふことが出来る。

鋼板 (0.7 mm 超) も此悲境に陥つては愈々頭が割れたと見え愈と離れて輸入の影を潜めた、目の醒めるのが誠に遅かつた。

鋼板 (0.7 mm 以下) は復々 1,400 噸の輸入となつた、之は主として 2.5×7' 2.5×8 の所謂長尺物であるが將來は此方面の外注防遏も一考を要するのではあるまいか。

軌條は愈々輸入絶滅の域に達し。

線材は 2 月輸入の前驅を承つた感あつて稍増加した、やはり先月の極減が風先満樓の静けさであつたのである、扱て 2 月、3 月に如何なる駒が出るか。是非是非豫想に反して僅少なる事を望んで已まない。

鋼管も益々減少の道程を辿つて居る。此の趨勢は何時まで續くか、是非永續をさせたいものである。

**ベンゾール類** 1) モーターベンゾール大減産關係各市況の硬軟とは殆んど無關係と思はるゝまでに絶えず新需要相繼ぎ各期とも引續き供給不足の状態にあつた當所モーターベンゾールは、過般決定の鐵材生産高の減産に伴ふ石炭使用量の減少に因つて必然的に各月生産豫定高の極短なる減少となり、從來の定期各契約者に對してす

ら割當數量を大いに制限するの餘儀ない状態を來した。

4月以降の明年度生産豫定高は未だ決定しないが當分増産は望み得ないから、需要期の近づくにつれて一頃の様に巷間必需者間の爭奪戦を呼び此の點丈だけでも本品市況轉換の好材料となるに充分であらふ。

新舊生産豫定高下の如し。

月別	變更生産 豫定高	従來の生 産高	比 較
1月	322 吨	506 吨	減 184 吨
2月	264	449	〃 185
3月	322	563	〃 241

2) 當期 1月、2月渡ベンゾール類据置 ベンゾール類市價とは密接な關係にある揮發油市況は立直らんとしは崩れ立直らんとしは又崩れて依然混亂を重れ相手と數量次第では極短に出來値を異にし仲間取引者の介在を許さぬまでに各親會社より直接需要者への猛烈なる賣込を報ぜられ前途尙多端を豫想せられて居る。

各社のベンゾール類はゴム工業界の大不振による直接の需用減と前記揮發油の一部採算外れの安値賣に影響せられて昨秋來漸次軟弱を傳へられ、當所モーターベンゾールも需要増加の好條件に在りながら一時値段の維持は困難であると云ふ變態的の状態を見せた前述の生産數量の大減少に大口需要者の氣分更新せられ市價回復の期待の下に客年末今期 1月、2月渡價格は据置の事に協定した。100% ベンゾール其他も夫々の關係狀況を参照して同じく据置となつた。

1. モーターベンゾール

70 吨以上契約の場合	145 圓替
35 吨以上 〃	155 圓
35 吨未満 〃	165 圓
2. 100% ベンゾール	195 圓
3. ソルベントナフサ	
30 吨以上契約の場合	117 圓
30 吨未満 〃	122 圓
4. 製鐵テレメン油	120 圓

(備考) 以上各八幡工場容器付 1 佛吨單價

12 月渡と 1 月渡の先物申込—殆んど影を没す

12 月渡先物 申込として條鋼では工形鋼 42 吨、溝形鋼 25 吨、計 67 吨、鋼板は一中板 30 吨、條鋼、鋼板合計 97 吨と云ふ數字である。

線材は賣出の 3,500 吨に對し 6,690 吨と云ふ超過て此空氣が外注に走らしたものと云はれて居る。未だ未だ線材には思惑買の跡は絶ち難いものである。

1 月渡先物 條鋼は全然影を没して 1 吨の申込もなかつた、これこそ眞の新記録である。只鋼板に一中板として只の 10 吨の申込があつて先物なるもの、影を留めて居るのが一層の淋しさをそゝる氣がする。

線材は 4,000 吨の申込引受に對し、5,430 吨の申込を見せ未だ餘燼を残してゐる。

東西市況——光明閃く

昭和 6 年新春の市況をいくらでもよい様に書ける材料が出て來たのは何より嬉しい。

月央を過ぎてより鐵鋼界に一導の光明がさして來た様に傳へられて居る。誠に旱天に雲霓を望む感がある。

其原因は丸鋼の底入と鋼板の反撥と云はれて居る、即ちベース丸に對する先行疑懼の念が一掃された事と、あれだけ縛れた厚板に統制の見込立つとの噂は一舉に業界を明るくしたのである、志氣の衰へて居る今日どれだけの反撥力と持久力があるに就ては疑問であるが、條鋼の王座が動き、鋼板の主力が波瀾を畫き出したので相當の期待を持つて居る向もある。

東京市況

丸鋼 ベース丸は共販の 57 圓の死守漸く奏效し、これ以下では買へぬの感念が徹底した處へ、實需家筋が未だ未だ安くなると、飲んで居たのが此強腰に刺戟されて、追々と決定急ぎとなつたのも加はつて、今迄賣一方に終始して居たものが買に轉じて來た爲め、54 圓賣迄軟化したものが 2、3 日來 54 圓買まで好轉したと云はれて居る、6m/m は伸鐵の注入により昔の梯はなく 9m/m は未だ荷凭れ氣味に弱保を續けて居るが伸鐵物もベース丸轉換と厚板好轉により 54 圓以下は賣應じないと云はれて居る。

角、平鋼 悪い氣分ではないが、角、平共に底力なく、只平鋼が角に比し、何んとなく先行に對し期待せられて居る模様である。

型鋼 有爲轉變の世相を反映して居るのが中小型山形である、協定前は持てあまされて居たものが一時は好轉して他鋼材をリードして羨望的となつたのが年が變ると共に丸鋼、鋼板の好調を逆に歩いて再び急轉直下落潮を辿り、不安氣分を漲らして居る。大型山形 賣行不振の爲ジリ安、不等邊不變只 1/2×4×6 の稍見るべきのみ溝形鋼も人氣なく弱保合を續け 工形は稍耽り模様なるも轉換の力など望めず保合つて居る。

鋼板 1.6×3×6 は東京も愈々品切れとなつて 9 圓 10 錢まで軟化したものが西高の刺戟も加はつて急騰步調となり 10 圓揚みまで行くと云ふて氣配は強い、3.2 も西へ引かれて反撥した、特筆に値するのは 4.5 以上の厚板でシャーの統制とメーカーの協調を買つて奔騰氣分で、復々例の思惑買が擡頭せぬかと憂慮されてゐる程である。自重々々

## 大 阪 市 況

**丸鋼** 「1931年は明朝だ、黎明が来たのだ」、「0」が「1」と變つた、無が有に轉じたのだ」と鋼材市場人がささやき出した。長い間下積みになつてもがきあへぐことのみより知らなかつた我が丸鋼界にもメーカーの限産と市場在庫薄のめ薄明りながらも光明は點ぜられた模様である。就中 12m/m、16m/m は手當薄に駈りを傳へられてゐる。

**角、平鋼** 大體に於て年末と大差なく 目先伸鐵もの、出廻りある迄は順調に推移するものと見られて居る。4"×2' 5 圓 80 錢を唱へられて居るのが目立つ。

**型鋼** 最近ドイツは鐵相場を 6、7 パーセント方値下げしたとの事であるが、これは内地相場に對してであつて輸出には關係はなく従つて我市場には響かざるもの、如く傳へられて居るが型物は概して需要不振の域を脱せず、弗々品切ものもあるやうであるが未だ上向を見ず保合商状と云はれてゐる。山形鋼中型ものは日本鋼管の品出廻り順調に幾分氣を悪くし、且つ關東の 5 圓 8、90 錢を眺めて大阪も 6 圓臺割を豫想されて居る。

**鋼板** 16、32 は至極少く 1/16"×3'×6' 及び 4'×8' は一躍 10 圓 50 錢にて取引されてゐる。32×3'×6' 8 圓 20 錢、32×5'×10' 8 圓 70 錢を唱へられて居る。

**線材** 目下の呼値は

大密物 1 英噸 78 圓 當所及神戸製鋼品 1 噸 76 圓である。

無期待の中からも期待を拾ひ出さうとする甘い新春氣分も銀塊の暴落によつて淡雪の如く消失して屠蘇氣煩も何もあつたものではない、相も變らず買氣起らず、一向に商談まとまらざる有様と云はれて居る。

**鐵力板** 金解禁當然の犠牲を覺悟した我鐵力板ではあるが、昨年といふ昨年は、徹頭徹尾群がる悪材料に晒され通してあつただけに彌が上にも苦しみ抜いたことは否定出来ない事實である。しかしこうした苦しみも結局は 1931 年の春の需要期に幾分の期待を抱きつゝ、越年したがきて年が明けたが一向に好轉の兆見えず相も變らずジリ安歩調を辿つて居る。

**販賣旬報** 第 151 號 昭和 6 年 2 月 2 日

製鐵所販賣部

## 昭和 5 年鋼材供給統計

1) 徹頭徹尾苦難に終止した昭和 5 年の我鋼材界の供給實蹟は別掲比較表の通りである。

總供給數量は約 216 萬噸。前年の 253 萬餘噸に比して約 38 萬噸の供給減即ち約 15% 減少した譯で殆んど

昭和 2 年の供給數量に近いものである。

2) 之を各部門に就て昭和 4 年に比し(増)減率を掲げると次の通りとなる。

條鋼	32.3%	外輪、車軸	14.8%
板	7.2	線材	15.2
軌條及附屬品	(0.4)	鋼管	16.4

即ち軌條及附屬品が例外的に増加した外は全部減少の徑路を辿つた、其内でも條鋼は飛び離れて顯著な減少率を示した。

昭和 4 年が前年より殆んど全部が増加したことに比すれば全然反對の現象を見たのである。

是等の各種の供給數量が市場に及ぼす影響に就ては、當然市場及メーカーの在庫品の増減を考慮に入れなければ正鵠を失すること勿論であるが之に關する統計を缺くので遺憾ながら此點は各自の想像により取捨して戴かなければならない。従つて以下の所見も之を考慮外に置いたことを注意されたい。

條鋼中と云ふより全鋼材で減少の雄は丸鋼である、昭和 4 年に比し 36% の減少、數量で正に 20 萬噸の著減である、此の數字と現在の市場と照合する時は極端なる消費減を想像されるが、一步退いて同じ建築材料である型鋼類の推移を見ると溝形鋼などは寧ろ増加し其他も減少率が僅少なるに拘らず、市場は比較的安定して居る處を見ると敢て罪を消費減のみに着せることは首肯出来ない。他にも何か重大な原因が潜むのではあるまいか。

鋼板の伏魔殿は 0.7mm 以上鋼板である、此表に現はれた比較の減少數量は約 3 萬 8,000 噸であるが當所在庫やシャーの現況、市場に於ける厚板界を眺めると一寸言葉を挟む餘地がないが、窮すれば通ずるの諺もあるので近く總ては解消するであらう。

之に反して 0.7mm 以下は僅々 1 萬噸の減少であるのに共販組合の威力に依り見事安定せしめて居るのを見ても統制の効果を讚美しない譯にはいかない。

軌條及附屬品は昭和 5 年の特異例として増加したものである、其内で重軌條が増加したのである、此は使用方面から考へて、他鋼材に比し需要の緩急が影響するのが緩慢であることも之の結果を齎した一因と見られて居る。

線材、鋼管等は 5 年の自然増加率を考慮に入れる時は常識的に一般に云はれて居る消費 3 割減に近い數量が減つて居る。

3) 供給者別に考察して見ると、製鐵所は總數量で 2 萬 8,000 噸減。總體的に見る時は減少率僅少の様であるが品種別に見れば、當然内地で増加されなければならぬものを増加したに過ぎないのである。

過 去 三 ヶ 年 鋼 材

品 種 分 区	製 鐵 所			民 間			内	
	昭和3年	4年	5年	3年	4年	5年	3年	
條 鋼	丸鋼	105,919	123,333	83,676	334,407	365,963	251,948	440,326
	平鋼	18,247	17,684	24,540	6,800	6,781	5,418	25,047
	山形鋼	55,581	66,308	45,762	17,145	14,935	14,935	72,726
	工溝鋼	98,106	95,521	89,263	93,668	97,976	93,221	191,774
	形鋼	27,332	25,225	27,998	—	—	—	27,332
	パイピング	32,019	35,753	38,913	—	—	—	32,019
	シート	—	—	—	—	—	—	—
其他	2,084	4,081	1,515	8,835	7,527	5,358	10,919	
小 計	339,288	367,905	311,667	460,855	493,182	370,880	800,143	
鋼 板	板 0.7m/m超	148,162	165,762	155,319	156,159	177,752	162,275	304,321
	〃 〃 0.7m/m以下	25,997	27,934	28,605	75,161	145,169	186,885	101,153
	珪素鋼板	3,376	3,287	5,348	—	—	—	3,376
	珪鋼板	2,497	4,358	3,751	—	—	—	2,497
	力板	16,390	17,879	22,430	—	—	—	16,390
	ユニバーサル平鋼	1,887	784	2,916	—	—	—	1,887
	小 計	198,309	220,004	218,369	231,320	322,921	349,160	429,629
軌 條 及 附 屬 品	重軌	177,929	242,036	254,355	—	—	—	177,929
	輕軌	16,938	22,441	28,697	4,092	1,365	3,174	21,030
	繼軌	11,719	13,540	16,331	—	—	—	11,719
	小 計	206,586	278,017	299,383	4,092	1,365	3,174	210,678
外 輪 車 軸 線 鋼 其 他	外輪	11,588	8,406	6,380	10,906	7,959	9,279	22,494
	車軸	50,769	61,763	76,603	6,820	6,026	45,828	57,589
	其他	2,693	6,079	5,598	64,460	76,269	88,338	64,460
總 計	809,233	942,174	918,000	784,151	911,262	869,573	1,593,384	

備考 昭和5年の數字に付いて——1. 製鐵所生産高は主として歴延高とす 2. 民間生産高は鐵鋼協議會調査を三港輸入高の數量を以て品種別に按分せるものなり

民間に就ては丸鋼の減少は刮目に値する、其他は鋼板にしる、線材にしる、或は鋼管等皆外注驅逐に精進した跡が顯著である。

即ち内地生産の計で見れば丸鋼の減少を除いては外國品を排除する意味にて殆んど生産増加となり、特に0.7mm以下鋼板、線材の増加は目覺しいものである。

輸入に就ては前報したので略すが殆んど半減の31萬噸の減少となつた。即ち漸次自給自足の色彩を濃厚ならしめたのである。當然引つ込まなければならぬものが引つ込んだままである。

4) 要するに昭和5年に於ける大なる收穫は輸入の徹底的撃退である。然して此供給數量が將して現在の消費力と合致するや否や、何れに向つて進出すべきや等殘された研究項目は多々展開されて居る。

日本黑板共販理事會—1月積締切 舊臘 23日 大阪電氣俱樂部に於て1月積締切理事會を開催、申込狀況示表の通り。

内 地 向

	賣出 噸數	申込噸數		
		東京	大阪	計
川 崎	6,030	3,149	2,265	5,414
製 鐵	1,120	1,060	175	1,235
中 山	1,080	300	780	1,080
德 山	600	120	500	620
日 鋼	170	—	180	180
計	9,000	4,629	3,900	8,529

輸 出 向

川 崎	1,960	—	835	835
製 鐵	430	—	—	—
中 山	360	—	250	250
德 山	200	—	200	200
日 鋼	50	—	25	25
計	3,000	—	1,310	1,310

内地向は9,000噸の賣出に對し僅かに471噸の申込不足を告げたのみで1月の不需求期として先上々の成績であつたが、輸出ものは銀塊安、外品の激烈なる競争等に祟られて依然不振、製鐵所の如き注文皆無と云ふ有様であつたが、組合は今後此の方面に向つて意を向ける必要があるであらう。

日本黑板共販理事會—2月積賣出 去る1月 23日 東京丸の内會館に於て2月積賣出理事會を開催、指定

供給數量比較表

地生産計		輸 入			總 計			4年と5年の比較 減(増)
4年	5年	3年	4年	5年	3年	4年	5年	
489,296	335,624	43,538	69,610	22,524	483,864	558,906	358,148	(200,758)
24,465	29,958	5,830	6,741	2,556	30,877	31,206	32,514	1,308
81,243	60,697	17,483	17,342	10,714	90,209	98,585	71,411	(72,174)
193,497	182,484	22,764	25,157	14,918	214,538	218,654	197,402	(21,252)
25,225	27,998	14,369	26,056	5,539	41,701	51,281	33,537	(17,744)
35,753	38,913	9,447	10,751	10,021	41,466	46,504	48,934	2,430
—	—	23,767	28,551	33,232	23,767	23,551	33,232	4,681
11,608	6,873	2,400	5,950	6,898	13,319	17,558	13,771	(3,787)
861,087	682,547	139,598	190,158	106,402	939,741	1,051,245	788,949	(262,296)
343,514	317,594	69,973	57,183	45,196	374,294	400,697	362,790	(37,907)
173,103	215,490	183,468	79,873	27,446	284,626	252,976	242,936	(10,040)
3,287	5,348	9,706	10,248	7,451	13,082	13,535	12,799	(736)
4,358	3,751	7,677	2,690	2,182	10,174	7,048	5,933	(1,115)
17,879	22,430	72,113	81,564	68,912	88,503	99,443	91,342	(8,101)
784	2,916	—	—	—	1,887	784	2,916	2,132
542,925	567,529	342,937	231,558	151,187	772,566	774,483	718,716	(55,767)
242,036	254,355	24,582	15,351	5,421	202,511	257,387	259,776	2,389
23,806	31,871	20,870	18,133	6,835	41,900	41,939	38,706	(3,233)
13,540	16,331	4,619	1,440	887	16,338	14,980	17,218	2,238
279,382	302,557	50,071	34,924	13,143	260,749	314,306	315,700	1,394
16,365	15,659	2,148	2,749	809	24,642	19,114	16,468	(2,646)
67,789	122,431	172,644	157,474	68,684	230,233	225,263	191,115	(34,148)
76,269	88,338	53,859	63,049	28,201	118,319	139,318	116,539	(22,779)
9,619	8,512	2,787	2,303	3,280	11,178	11,922	11,792	(130)
1.5 3,436	1,787,573	764,044	682,215	371,706	2,357,428	2,535,651	2,159,279	(376,372)

に依る但日本鋼業下半期生産高報告未着に付上半期の數量を以て推定す 3. 輸入高は大藏省輸入統計の數量

商たる四社の希望並に市況殊に獨逸品に對する 對策を考慮して下の如き決定をなした。

1. 賣出噸數

	内地向	輸出向	計
川 崎	6,320噸	2,250噸	8,570噸
製 鐵	850	520	1,370
中 山	980	110	1,090
德 山	640	100	740
日 鋼	210	20	230
計	9,000	3,000	12,000

以上の内輸出物は輸出組合の希望もあり 旁々發表するだけでも外註防遏の一助ともなるであらうとの見地から、現在の市況では恐らく1噸も賣れないことを覺悟して2,3,4の3ヶ月先物を賣出した。今後も恐らく此の方針で進むのであらう。

1. 建値 最近獨逸のシーメンスが安物をかつき廻つて市中の慾張り連の鼻のさきをチヨイチヨイ撫てゐると云ふことは既報の通りであるが、切角のお得意と頼みにしてゐた日本市場に 共販組合が出来て此が亦日本人としては珍らしい統制振りに、動ともすれば 驅逐されさうな形威を見てやつきとなり、此の間あたりから早くも「悪からう安からう」が大好きな日本人の根性を見てとつて、

「1 噸が 280 枚、それでもお値段の方は變りありません」と勝手口から大車輪の戸別訪問、そこで 4 社は其外註値段 280 枚 1 英噸 11 磅 3 志之を換算して 1 噸 136 圓 90 錢、即ち川崎もの前月に比し一躍 10 圓下げの 140 圓を希望したが、共販組合としては未だ獨逸の競争力と意のある處が判然せぬに、俄かに其處まで突撃戦を試るは早計、大軍を率ゐて市場に嚴然と君臨してゐる 共販王國だ、徐に形勢を觀望し、敵軍の行動を看視して 虚々實々の妙を振るへば「もう浮氣はいたしません」と流石慾張りな日和見連も共販に靡くは 理の當然、斯くして參謀本部の決定は輸出向に於てあくまで獨逸ものと對抗する方針をとり、内地物は外註成行相場 11 磅 5 志(272 枚)を基礎として下の通りとすることになつた。

内地物 3×6 判

川崎 145 圓(5 圓下げ) 其他 144 圓

波板は以上の値段の 2 圓 50 錢引(エキストラ 50 錢下げ) 輸出向 3×6 判

川崎 110 圓(6 圓 50 錢下げ) 八幡 107 圓 50 錢

其他 109 圓

波板は以上値段の 2 圓 50 錢引(エキストラ 50 錢下げ)

1. 其他理事會に於て決定せられた事項の内特筆すべきは2級品以下の端物が組合の管理下に置かれたことである。即ち各組合員は2級品以下の端物に就て其の發生數量、處分方法、値段、向先等を事細かに毎月組合に報告し組合は之をとり纏めて指定商たる4社に發表すると云ふ仕組である、そして更に進んでは各社の品質規格を吟味し、2級品、3級品等の統一を計り併て値轄まで組合で極め様と云ふことになつて居る、此のことによつて「箒もお化」の風聞を除かれようと云ふ寸法である。

因に次回理事會は来る27日、申込メ切は26日と決定した。

**日本黒板共販理事會—2月積締切** 2月締切理事會は去る1月27日大阪電氣俱樂部に於て開催されたが、9000噸の賣出に對し申込7,464噸で今迄にない貧弱な賣行であつた。此は下の内譯に依つて知らるゝ通り東京の申込が著しく僅少であつた爲で、例月に比し約半減の慘目さである。然し製品市場の不振な東京としては從來が既に買過ぎの傾向であつたので、今月の買控は寧ろ當然のこと、之で市場も先行好轉の期待がもてると云ふもの、一方輸出向は3,000噸の賣出に對し2月ものは申込超過の3,278噸、組合初て以來の記録であるが、川崎もの110圓と6圓50錢も思ひ切つて値下げしたのが效を奏したので、高なくいつてゐた思惑連中の膽を冷して、「もう獨逸ものは眞平」と弱音をはくもの續出。「良薬口に苦し」、チト苦が過ぎるかしれないが效能顯著なお薬だ、命大事と思し召すならお呑あれお呑あれ々々。

内地向

	賣出 噸數	申込噸數		
		東京	大阪	計
川製	6,320	1,295	4,005	5,300
崎鐵	850	550	105	655
中德	980	100	880	980
日鋼	640	154	250	404
計	210	—	125	125
輸出向	9,000	2,099	5,365	7,464
川製	2,250	—	2,358	2,250
崎鐵	520	65	425	520
中德	110	—	260	260
日鋼	100	—	150	150
計	20	—	20	20

輸出向の申込は凡て2月積で、3月4月の先物は1噸もないのは豫定の行動、今回の組合の態度から外註値段如何によつてはどんな値が出るかわからぬとの心配かららしい。

兎も角組合が漸時市場を統御しつつあることは何より慶賀の至りである。

**三エス會** 1月26日當所東京出張所に於て珪素鋼

板の1月より3月迄の賣出値段に付協議せり詳細は後報す。

**12月中大陸市況** 11月下旬に於ける反騰の後を受けて12月に入るや、取引少きも相場は依然昂騰氣勢を示し、ベース4、6、6の高値まで漕ぎ付けたが、毎年の例に徴しても明かである如く12月と云へば名にし負ふ不需求期、殊に10月の突飛な安値に喰ひ付いての註文増加の爲であつたのだから値が上れば註文も打切りと云ふ有様、之以上の奔騰も望まれず、中旬聊かの下値を見せて其の儘越年と云ふ形であつた。

ブラッセル取引所相場下の如し。

	棒鋼	工形 (N.P)	工形 (B.S)	大型山形	鋼板 (3/16")	ビレット (2")	シート
12月3日	4-6-0	3-15-6	3-17-0	4-4-6	4-16-6	3-13-0	3-16-0
12月10日	4-5-6	3-15-6	3-16-6	4-4-6	4-16-6	3-12-0	3-14-6
12月17日	4-5-0	3-14-6	3-16-6	4-4-0	4-16-6	3-13-0	3-14-6

**東西市況一底堅し** 別項記載の通り昭和5年に於ける丸鋼20萬噸供給減の影響が漸く1月中旬より其效果を現はし來つたものか、前旬以來引き続き堅實な足取を以て進展して來て居る、部分的に見れば面白からぬ品種もあるが何にせよ鋼材界の王坐が安定して來たことゝ一般的に好影響を與へ、問題の厚板の駢りと相俟つてどうやら和やかな空氣である。

1月中頃迄は何處の間屋へ行つても、ブローカーに聞いても異口同音に「全く駄目ですなあ」の悲鳴のみであつたのが、近來は「何せ不需求期ですから薩張り動きません」と云ふ聲の多い中に交つて「お蔭様で弗々は捌けて行きます」と云ふ、今迄殆んど1ヶ年間聞いた事の無い言葉がチラホラと挟まつて來ただけ市場の雰圍氣が異つて來たと見られて居る。

東京市況

**丸鋼** ベース物の駢りは不變、一步一步恢復の徴候を表はして、他鋼材に好感を與へて居るのは何よりと云はれて居る、9m/m 12m/m も漸く堅實の歩調となり、伸鐵が厚板屑の安値入手困難の爲安賣不能となつたのも影響して好調と云はれて居る。

**角、平鋼** 角は可もなく不可もないが、強いて云へば寧ろ押氣味となつたと傳へられ、平は稍氣分を好くして居たが入荷の噂により聊か嫌氣が射した模様と云はれて居る。

**型鋼** 等山ベースの軟調不改、遂に成行5圓60錢を報ぜられる様になつたが、市場の觀察では最早此邊が底ではあるまいかと云はれて居る、然し常識を以ては判斷出來ぬ近來の鋼材界では扱てどうなることやら心細いこ



とである、大型等山は前旬と變つて稍駢りとなつたが不等山は不相變不味、溝形は賣行も値段も殆んど動かず、工形も變りなきも氣分としては少しは良いと傳へられて居る其内で5×10の時物頗る強調。

**鋼板** 可なりの波瀾を畫いた1.6m/mは未だ其鋭鋒を収めざるも最近入荷の報に頭重となつたと傳へられ3.2m/m、2.3m/mは品薄を楯に硬化見込を傳へられて居る。厚板の相場は未だ表面には現はれぬが氣配は益々強調に推移して居る。

**線材** 大阪の軟調に反し東京は極度の品薄の爲工場の仕事にも差支へる程と云はれて、硬化を傳へられて居る。

**大阪市況**

**丸鋼** 市場品薄なるにも拘らず賣行不振の爲め一向に不牙。唯44m/mは6圓、95m/m6圓70錢と稍強く異彩を放つて居る。

**角、平鋼** 角鋼28m/mは極度の品薄にて6圓70錢44m/mは6圓50錢にて取引されて居る。其他は不動。平鋼は概して前旬と變化なく軟調の内にも16×100は7圓、19×90は6圓30錢、12×38は6圓と高直を唱へられてくるのが目立つ。

**型钢** 山形鋼大型、中型共荷動き不活潑の爲め殊に大型物は品薄にも不拘兎角行間氣味にて其日暮しに推移して居る。工形、溝形鋼共賣行は不振にて極度に閑散、内2×3½(溝形)丈は13圓と鷄群の一鶴の觀がある。

**鋼板** 薄板は今回日本黒鉄共販組合の値下げ発表により輸入原板はこれに對抗するためホーリングロスを設ける云々との報に市場は氣迷ひ商狀を呈して居る。1.6×3'×6'は相も變らず相當な値段で取引されて居る模様である。

**線材** 前旬來より大陸物及び内地は共に2圓方の暴落振りを示してゐる。大して賣物多きといふ程でもないが2月中旬以降に舶來品入荷豫想の下に全く買氣なく閑散な場面を呈して居る。

**鐵力板** ウエスト、ウエスターは目下市場在庫薄の爲め相場は上向きつゝある様子にて遂に正品級と殆んど變らざる値段を唱へるにいたつた。従つて正品級も弗々動き初めたといはれてゐる。

**訂正通知** 前旬掲載せし昭和5年12月契約高表中12月中合計欄の一部下の通り訂正す。

品種	噸數	金額	噸當
其他鋼材	90	10,263	114.03
鋼材小計	65,380	4,897,404	74.91
鋼片、鋼塊	20,025	1,135,840	56.72
以上計	85,405	6,033,244	70.64
短尺及屑鋼	5,038	251,056	49.83
以上計	90,443	6,284,300	69.48

**販賣旬報** 第152號 昭和6年2月12日

**製鐵所販賣部**

**製鐵所鋼材の分布と京濱阪神の比較** 日本に於ける鋼材の分布に就ては今迄殆んど記録を持たない。

概念を得る爲め當所の揚地別發送高を過去4ケ年に亘つて下に記録して見た。然し此表の數字は各の揚地で其全部が消費されず、其幾部分が其處から諸方向へ轉送される事は勿論で、京濱、阪神では特に其傾向が著しいと思ふ、また其中で「製鐵所渡」なるものゝ消費地は頗る疑問に富むもので、九州方面は云はずもがな、滿鮮方面へも可なり發送される模様であるが、そう云ふ處を視野外に置いて、表その儘を眺めても相當の効果はあらう。

**昭和2年以降製鐵所鋼材分布表** 單位噸

區分	年次	昭和2年	昭和3年	昭和4年	昭和5年	4ケ年平均	%
阪神地方		291,741	403,371	368,645	283,068	336,706	40.8
京濱地方		255,612	346,093	297,669	202,116	275,373	33.4
製鐵所渡		54,207	59,894	70,029	63,916	62,011	7.5
關門地方		38,744	36,225	34,550	27,073	34,148	4.1
九州地方		27,506	33,935	33,101	37,928	33,117	4.0
伊勢灣、東海地方		3,051	2,858	2,739	2,477	2,781	0.4
山陰北陸地方		5,636	7,093	8,664	4,174	6,392	0.8
内海沿岸、四國地方		3,988	4,417	4,336	4,166	4,227	0.5
東北、北海道、樺太		25,764	23,950	24,467	22,503	24,171	2.9
滿洲、朝鮮、支那		29,314	23,870	31,841	66,030	37,764	4.6
臺灣		—	—	93	1,264	339	—
支臺合		8,057	6,778	9,222	9,587	8,411	1.0
合計		743,620	948,484	885,356	724,302	825,440	100.0

鐵の消費量が一國の文明のパロメーターたることを肯定するならば、國內に於ける部分に就ても此説はあまり裏切れないと云ふことを此表でも窺ふことが出来る。

即ち日本に於ける文明の中心は京濱、阪神で、此兩所で、當所製品の半分以上を占めて居る、それなら阪神が京濱より、いくらか多いから阪神の文明が京濱より進んで居るかと反駁されるか知らぬが此は前に述べた様に必しも其地で消費される譯でなく其販路が阪神は四時殆んど雪を見ざる中國地方であるのに反し東京方面の販路が貧弱な東北を控いて居る關係と、阪神が日本に於ける工業の中心地であると云ふことが此結果を招來したと見るのが至當ではあるまいか、之に亞ては概して九州關門地方で、伊勢灣、東海道も我等の頭腦に宿つて居る、文明の程度を表して居ると見られる。

北海道、樺太などが案外に多い消費力を持つのは其新興に燃ゆる意氣の表現とも見られるではないか。

滿鮮關東州が漸次多くなつて行く傾向のあるもの、内地製品の海外發展の兆と見ても誤りではあるまい、殊に之を裏書して居るのは支那である、昭和3年までは此表には全く片影だに認めることが出来なかつたが昭和5年に於て明瞭な記録を残したのは數量こそは尠ないが正に日本に於ける鐵鋼業が自給自足の域を越へて輸出に轉じた證左と見ることが出来る。

東京からも相當數量は行くであらうが其廣袤の割に消費力の足りないのは何と云ふても奥羽地方である。

次に日本に於ける主要な消費地たる京濱及阪神に就て研究して見たい爲め、材料を集めて見たが中々困難で、精確なものとして、製鐵所の鋼材發送高と、輸入鋼材の3港輸入數量と、民間丸鋼發送高を拾つた、未だ此外民間の丸鋼以外の鋼材の分布を加へればならぬが、大體に於て此の數量で兩地方の趨勢を考察し得ると思ふ。

計の欄に於て見る通り各年次共京濱地方は常に阪神地方に一籌を輸して、4ヶ年平均を見ても京濱は寧ろ50萬噸近く、阪神は100萬噸に近づく趨勢に在る様に見られる。

特に兩地方の傾向を一目に見ることが出来るのは%の欄である、4ヶ年平均で阪神は京濱より13.4%優つて居る、然も年を重ねるに従つて阪神が京濱を引き離しつつあるのが明らかに數字上に現はれて居る。此は何に原因して居るか、復興の一段落など最先に數えられる主な1つであることは疑を容れないだろう。民間の丸鋼以外の鋼材を數量に加へても恐らく此の大勢は動かせぬものではあるまいか。

部分的に見ても製鐵所鋼材及輸入共に各年次共阪神地方が優勢であるのに變りなく、只民間丸鋼が昭和4年に例外的に京濱が阪神をリードして居るのみである。

之を要するに大勢に於て京濱は阪神に及ばず、然も年々其差が多くなりつつあると云ふことは否定出来ない事實の様である。

説明等形の如く終れば僅々3分、別表の如く大體据置、2、3特に外註の下落を見たるものに就てのみ2、3圓下げを決定散會した。

引下げられたものは大型山形の1圓下げ、工形、溝形、耗サイズの各3圓下げ、1.6耗鋼板2圓下げの4種である。

### 3、4月積先物協議會

品種\區分	入電 沖着	河岸着	値段 (爲替2/0-3/8)	希望	決定	備考
棒鋼 ベース	4-18-0	68'28	65	65	据置	
丸鋼 徑 9m/m	5-2-6	70'46	65	65	"	
中小型山形鋼	4-18-0	63'28	67	67	"	
大型山形鋼	4-17-0	67'80	68	69	1圓下げ	
工形鋼	4-13-0	65'86	66	67	3圓下げ	
溝形鋼(吋サイズ)	5-7-0	72'64	70	70	据置	
"(耗サイズ)	4-14-0	66'35	66	67	3圓下げ	
鋼板 6m/m以上	5-11-9	74'95	70	70	据置	
" 2.3m/m	5-18-0	82'98	82	82	"	
" 1.6m/m	5-18-0	82'98	83	84	2圓下げ	
鋸力板 100 lbs	0-18-3	9'72				
" 170 lbs	1-12-9	17'40				
鋼板 4.5m/m	5-11-9	74'95				
" 3.2m/m	5-14-0	76'04				
線材 B.W.G. No.5	6-12-6	78'22				
黑簿鋼板 12-2-6	153'22					

**輸出概況**—昭和6年1月—銀相場が頻りに有史以來の慘落を續けて居る爲、支那市中在庫品が安値となつてゐること、世界鐵價の大勢が依然軟勢を改めないこと、酷寒の不需要期なること、内地市況に好轉の兆が見えんとしてゐること等、今月は輸出に恵まれぬ諸條件が續出した。更に注目すべき現象は歐米鐵鋼業を背景として活躍してゐる外商が、我が海外進出の聲を聞いて、従前執拗に固守して退かなかつた我が國に於ける第一線を徐るに放棄して第二戦線を極東市場に布くべく着々其準備を急いでゐることである。之等の困難を乗り越えて敢行された今月の輸出は下の通りである。

大連—牛莊方面	296噸	香港—廣東方面	2,849噸
天津—青島方面	226	新嘉坡—マニラ方面	25
上海—漢口方面	2	合計	3,398

1月中3港輸入—俄然1萬噸臺を割る

### 京濱、阪神兩地方鋼材分布表 單位噸

區分 年次	製鐵所鋼材		輸入鋼材		民間丸鋼		計		京、阪合計に對する%	
	京濱	阪神	京濱	阪神	京濱	阪神	京濱	阪神	京濱	阪神
昭和3年	346,093	403,371	282,904	427,388	136,142	127,864	765,139	958,623	44.4%	55.6%
昭和4年	297,669	368,645	258,413	368,431	119,539	145,583	675,621	882,659	43.4%	56.6%
昭和5年	202,116	283,068	124,611	193,656	79,023	97,175	405,750	573,899	41.4%	58.6%
4ヶ年平均	281,959	351,695	221,976	329,825	111,568	123,540	615,503	805,060	43.3%	56.7%

1) 年改まると共に内地鐵鋼界も微かながらも光明を認められる様になり、ホット一息の形であるが、此情勢に力付けるかの様に3港輸入も益々著減となり、1月には新記録として9,000

**3、4月積先物協議會** 2月6日、大阪平和俱樂部に開催、申込殆んど無き先物協議會のことゝ口角泡を飛ばした往昔の面影等更になく、問屋希望案の提出、幹事

一正に劃期的現象として慶賀すべき事である。

2) 丸鋼の434噸は目障りであるが半分以上は太丸である。條鋼類では其他殆んど目星しいものはなく、只大阪

神戸に工形鋼が 400 吨近く入つたのが珍しい。

鋼板は薄板厚板共殆んど影を潜めたが之に油断せず薄板に就ては浪板原板に一段の戒心を要するのであるまいか、鉄力は悪い々と云ひながら 1,700 吨の輸入あり。

軌條は月を重ねるに従つて其影が薄くなつて來た。

問題は線材である未だ見ぬ 1 萬吨の姿と其前驅と見られる此 3,000 吨の輸入に驚いて大阪は崩落の足取りとなつたと見られて居るが、東京は品薄に困つて居る、將して 2 月には如何なる結果を招來するか是非 1 萬吨の聲が響に止ることを祈る。

3) 振り返つて去年の今月を眺めると當時 4 萬 3,000 吨、今月の 9,000 吨と對比して隔世の感がある。無駄とは知りながら死兒の齡も數へて見たくなるではないか。

先月と比較して見ても 3,000 吨減よくこれまで減少したものである。

要するに前月も書いた通り此の輸入數量は日本の現下の鐵鋼界から見て過少である。何時か此の反動は來なければならぬが如何なる數量が如何なる時期に入つて來るかそれによつて、本年の鐵鋼界の或部分の運命は決せられるであらう。

**日本黑板共販理事會 (臨時會)** 日本黑板共販組合は今月を以て第 2 期(1 期を 3 月とす)を終るので、來期 3 ヶ月間に於ける基本數量を決する爲、2 月 5 日大阪中央電氣俱樂部にて臨時理事會を開催し、下の如く決定した。

#### 第 3 期各社基本割當數量(内地及輸出向合計)

川	崎	7,500 吨	德	山	900 吨
製	鐵	1,700	日	鋼	400
中	山	1,500	計		12,000

尙同席上に於て討論の結果、13 枚ものゝみならず厚ものも組合の統制下に置くの利益なるに意見一致し、此の方面に向つて銳意努力することになつた。

**東西市況** 引き続き丸鋼、鋼板の好調は變らず、市場全般を明るくして居る。特に丸鋼は浮動調子が日 1 日と薄らぎ、東京方面でも假需要が擡頭して來たと見られる程堅實なものとなつて來たと云はれて居る。然し一部では好轉の機が不要需期の最中に起つただけ此際が特に慎重の態度を必要とし若しもメーカー及び問屋が輕舉すれば地方筋が買ひ進まぬ内に中折れを出現しはしまいかと心配して居る筋もある。此狀勢に刺戟されて實需家筋も押目待の態度を改めた模様で、纏まつた見積は尠なくとも見積を暖める様な事はなく、弗々と市場へ現はれ初めたと傳へられて居る。

何にせよ市場の空氣と云ふものは恐るべきもので、つい此間までは原價など頭になく、損は當り前の積りで賣

りあせたものが、今日此頃は、57 圓で仕入れた丸鋼が 59 圓で賣れるのは當然ですと口に出す程全般の氣持が一轉して硬化したと見られて居る。

是等の狀勢に刺戟されて此不需要期としては相當ある様に傳へられて居る。

#### 東京市況

**丸鋼** ベース物の堅實味はどうやら本調子となつたらしく、何處にも不安の様子は見られない。共販にも近來急に注文殺到し建値も 2、3 月渡 60 圓、4、5 月渡 59 圓と引上げられた。此好調と鋼板の硬化は伸鐵に影響して市中品薄と相俟つて 9m/m 3/8" 12m/m が引き返し氣味となり、丸鋼が全般が強含みとなつたと見られて居る。

**角、平鋼** 角は低迷氣味であつた處へ、安値物の入荷に稍軟化の氣勢となり、平は 2 1/2 以下の相當安値の物がバラ撒かれたのでこれもギリ貧状態を馴致したと云はれて居る。

**型鋼** 丸鋼、鋼板の好調を他處に沈靜を守つて居るのは我型鋼である。中型等山は、成行としては 10 錢方引き戻したと云ふものゝ不安の氣分は未だ去らず、不等山も不味の儘推移し、溝形は 2×4 が行き過ぎに一寸氣を持つて居るが値段迄は影響せず、2 1/2×5 も品薄に先行を期待されて居るが、今の處は沈靜と見られ、大型物は不變、工形鋼は 4×8 迄は軟調、20 以上は駢りなるも概して落付き模様と見られて居る。

**鋼板** 1'6 は入荷により一時の騰勢は平均されたが未だ底意強く、3'6 は之に反して品薄に逐次上伸し、2'3 も反撥鮮かとなり、4'5 は厚板に引きづられたのと、品薄に奔騰し、6'0 以上もシャープ強腰のに益々硬化の狀勢と見られて居る。

**線材** 東京としては極度の品薄に不自由を感じて居るが西筋の極端な安値に押されて、成行 8 圓ドタ位を稱へられて居る。

#### 大阪市況

**丸鋼** 久しい間の不景氣風も漸く底をついたものと見る氣勢は旺ならんとして來た。細丸ものは東京高と市場品薄の爲め稍々引締り氣味と云はれて居る。

**角、平鋼** 角鋼は當所品出廻り順調に落付を見せて居るが中でも 44m/m、50m/m、55m/m、65m/m は市場在庫薄にて底堅き模様である。平鋼は伸鐵品の出廻りと當所品 1 月後れものゝ入荷に下落の一途を辿るのみなるも内 19×90 は 6 圓 50 錢 19×100 は 7 圓と稍々出色を見せて居る。

**型鋼** 山形鋼小型物當所品 12 月定期未だ出揃はず品切ものも弗々あれど伸鐵もの及び民間製品におびえて依

然鈍調、中型大型は商内出来ず。溝形工形鋼共賣行面白からず當所品サイズ以外の外註品の入荷も少々あり、かたがた各サイズ共在庫豊富にて弱保合の域を脱せず。

**鋼板** 昨年末暴騰の1.6、3.2板も昨今需要不振に訂正值段に近づきつゝある模様である。其他不變。

**線材** 製品界の不振に搗て加へて外註品の入荷ホツボツあり従つて東京高も一向に市況には響かず相も變らず落潮を不改。

**鋳力板** 既報の如くスクラップは市場愈々品切れを現

出し相場は漸騰歩調を辿つて居る。これに反し正品級は市場在庫豊富と需要減退の爲め氣配は依然鈍重を持續して居る。たゞ100封度ものは目先需要期を控へて居るのでこれに對して幾分期待をかけてゐる向もある。

**訂正通知**

前旬に於て12月中當所品種寸法別生産高表中下の通り一部訂正す。

誤 正  
鋼材總計 54,504噸 48,939噸

**1月上旬線材薄板鋳力板輸入速報**

區分 品名	上旬			中旬			下旬		
	神戸 自1月29日 至2月7日	大阪 自29日 至8日	横濱 自1月28日 至2月7日	神戸	大阪	横濱	神戸	大阪	横濱
線材	B.W.G.No.5 632	435	453	1,520					
	其他 585	152	—	737					
	計 1,217	587	453	2,257					
薄板0.7m/m以下	217	375	107	699					
鋳力板	266	127	513	906					

**東京大阪市中相場**

(單位圓)

寸法	上旬		中旬		下旬		寸法	上旬		中旬		下旬		
	東京 1月 8日	大阪 1月 7日	東京 1月 19日	大阪 1月 15日	東京 1月 29日	大阪 1月 28日		東京 1月 8日	大阪 1月 7日	東京 1月 19日	大阪 1月 15日	東京 1月 29日	大阪 1月 28日	
6mm	丸 7.90	7.90	鋼 7.80	7.90	7.80	7.85	溝形鋼	1/4"×2"×4"	6.30	6.50	6.15	6.60	6.40	6.70
9	5.55	5.70	5.55	5.75	5.75	5.80	0.312×2 1/2×5	6.90	7.40	6.90	7.40	7.00	7.30	
12	5.50	5.85	5.50	5.90	5.70	6.00	3/8×3×6	6.80	6.80	6.70	6.80	6.70	7.00	
19	5.40	5.80	5.45	5.85	"	5.85	3/8×3×8	6.70	"	"	"	"	6.90	
25	"	5.70	"	5.75	"	5.75	3/8×3 1/2×10	6.80	7.10	"	7.10	"	7.30	
50	5.80	5.90	5.75	5.90	6.00	6.20	3/8×3 1/2×12	"	6.90	"	6.90	"	7.00	
65	6.00	6.00	5.90	6.00	"	6.30	工形鋼	1/4"×3"×6"	6.70	6.80	6.60	6.80	6.70	6.90
9m/m	角 6.50	5.90	鋼 6.30	5.90	6.40	5.90	3/8×6×12	7.30	7.20	7.20	7.20	7.20	7.50	
12	"	"	"	"	6.30	"	0.25×4×8	6.70	7.00	6.70	7.00	6.70	7.00	
15	"	6.00	"	6.00	"	"	0.35×5×12	7.30	7.50	7.30	7.50	7.30	7.70	
19	"	6.20	"	6.20	"	"	0.36×5×10	7.20	"	7.10	"	7.50	7.50	
38	"	6.30	6.40	6.30	"	6.30	鋼板	m/m						
1/4"×1 1/2"	平 5.70	5.70	鋼 5.70	5.75	5.80	5.80	1.6×3'×6'	9.10	9.50	9.80	10.50	10.00	10.50	
1/4×2	"	5.75	"	5.80	5.70	"	1.6×4×8	9.20	"	9.40	"	9.50	9.80	
1/4×3	6.00	5.90	5.90	5.90	6.00	6.00	3.2×4×8	7.50	7.70	7.70	7.90	7.70	8.00	
3/8×4	6.20	5.80	6.20	5.80	6.20	5.80	3.2×4×10	"	7.90	"	8.50	7.80	8.30	
1/2×4	"	6.20	"	6.20	"	6.00	6.0×5×8	4.50	4.55	4.80	4.60	5.30	5.30	
							6.0×5×10	"	"	"	"	"	"	
							9.0×4×8	"	"	"	"	"	"	
							9.0×5×10	"	"	"	"	"	"	
m/m m/m m/m	等邊山形鋼						薄鋼板 (13枚)							
6×50×50	5.95	6.15	5.80	6.10	5.60	5.90	米 56	57	56	56	55	56		
6×65×65	"	6.10	"	"	"	6.00	英 55.5	55.5	55	55	54	55		
9×75×75	"	"	"	"	5.65	"	八 55.5	55	55	54.5	54	54		
9×130×130	6.80	7.00	6.70	6.80	6.80	6.80	鋳力板							
12×130×130	"	7.20	"	7.00	"	7.00	米 {170lbs 21.00	19.00	20.80	19.00	20.80	19.00		
15×150×150	7.00	7.00	6.80	6.90	6.90	"	{100 11.40	10.70	11.20	10.80	11.20	10.70		
							{170 18.30	17.10	18.00	17.00	18.00	17.00		
							英 {100 9.60	9.00	9.50	6.10	9.30	9.00		
							{170 18.50	16.70	17.70	16.60	17.50	16.50		
							八 幡 {100 9.70	8.90	9.50	8.70	9.30	8.72		
							線材							
							No. 5	79.50	76.50	79.50	76.00	81.00	74.00	

備考 單位 100 kg につき (置場値段)、但し薄板は1枚當り。線材は噸當り。鋳力板は1箱當り。

昭和5年11月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	澳	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及丸、角、平、形にして徑又は幅15m/mを超えざるもの	30	1	373	70	25	—	14	3	—	—	25	541	10,263
竿鐵 (丸、角、平の他の其他)	121	121	389	30	42	31	11	—	—	—	47	671	25,373
テ (ア、ン、グ、ル、形、及、其、他)	306	21	1,088	39	—	—	—	—	—	—	—	1,454	21,277
レ	3	40	1,175	20	—	—	—	1,804	—	—	7	3,049	44,653
フイッシュ、プレート	—	—	595	—	—	—	—	18	—	—	—	613	11,925
ワイヤード (巻きたるものにして徑5m/mを超えざるもの)	—	—	40	—	—	—	—	1	—	—	—	41	858
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	212	9	1,776	101	—	—	106	203	—	—	71	2,478	65,824
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	20	—	50	—	—	—	—	276	—	—	—	346	7,247
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	635	—	56	—	—	—	—	50	—	—	—	741	26,847
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	9	30	254	—	1	—	28	156	—	—	—	478	9,287
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	1	15	142	71	—	—	4	81	—	—	—	314	37,814
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	1,163	—	8	—	—	—	—	1,218	—	—	229	2,618	65,257
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	—	—	1	—	—	—	—	48	—	—	41	90	2,124
鉄板 (巻きたるものにして厚7m/mを超えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	87
鉄線 (金属を鍍せざるもの)	32	—	142	—	2	—	6	106	—	—	—	288	3,427
リード・ワイヤー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
鉄リボン	99	12	108	134	—	—	10	4	—	—	—	367	5,015
帯 (箍鐵)	119	455	1,102	1,495	—	—	—	18	4	—	—	3,193	40,985
パラゴン・ワイヤー	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	8	150
線 索	14	—	28	—	—	—	—	3	—	—	—	45	471
擦合線	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2	43
バーブド・ツウイスター	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ト・ワイヤース	407	1	378	—	3	15	—	395	—	—	149	1,348	27,477
鉄筒及管	16	—	17	—	87	—	9	7	5	—	5	146	1,905
特殊鋼 (税表一)	2	—	3	—	9	—	—	1	—	—	2	17	1,186
鐵道車輪及車輛用軸	3	—	—	—	—	—	—	12	—	—	—	15	252
鐵道車輪及車輛用タイヤ	—	—	47	—	—	—	—	—	—	—	—	47	555
鐵道車輪及車輛用タイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合 計	3,192	584	7,780	1,960	169	46	188	4,406	9	—	576	18,910	411,331
フェロ・マンガニース	254	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	254	1,957
フェロシルコン及シリコス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
其他の不可成鐵合金	—	—	62	—	—	—	1	—	—	—	—	63	552
シートバー (テインバーを含む)	—	324	510	—	—	—	590	—	—	—	—	1,424	60,672
インゴット・ブルーム・ピレット及スラップ	—	205	—	42	—	—	—	—	—	—	—	247	6,977
ケツグスチール及パンプスチール	—	—	—	—	—	—	22	—	—	—	—	22	368
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合 計	254	529	572	42	—	—	613	—	—	—	—	2,010	70,587
銑屑及故鐵	427	—	—	—	—	—	—	—	11,127	10,981	8,231	30,766	374,212
	1,665	—	—	131	—	—	—	2,836	115	804	3,032	8,452	470,487

昭和5年12月中國別輸入數量表

(單位噸)

品 種	英	佛	獨	白	埃	和	典	合	關	印	其他	計	本年累計
條及丸角平形にして 竿鐵(邊又は幅15m/m) を越えざるもの	16	93	229	18	20	—	73	—	—	—	—	509	10,772
〃(丸、角、平の もの其他)	36	—	657	40	155	—	8	55	—	—	1	952	26,325
〃(テ ア シ ン グ ル 形 他)	43	—	62	16	—	—	—	—	—	—	—	121	21,398
レ	—	731	1,593	920	—	—	—	—	—	—	9	3,253	47,906
ル	—	—	275	—	—	—	—	56	—	—	—	331	12,256
フィッシュプレート	—	—	29	—	—	—	—	—	—	—	—	29	887
ワイヤード ロイド(巻きたるもの にして厚5m/mを 越えざるもの)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1,021
〃(巻きたる もの其他)	—	—	961	1	11	—	352	310	—	—	204	1,839	67,663
鐵板(金屬を鍍せざるもの にして厚0.7m/mを 越えざるもの)	—	—	91	—	—	—	—	113	—	—	—	204	7,451
〃(金屬を鍍せざるもの にして厚0.7m/mを 越えざるもの其他)	136	—	388	—	—	—	—	75	—	—	—	599	27,446
〃(金屬を鍍せざるもの にして厚3m/mを 越えざるもの)	18	19	15	—	5	—	4	24	—	—	5	90	9,377
〃(金屬を鍍せざ るもの其他)	—	—	132	2	1	—	—	52	—	—	—	187	38,001
〃(錫鍍したるも の)(葉鐵及葉鋼)	1,136	—	16	—	—	—	—	2,344	—	—	159	3,655	68,912
〃(亞鉛鍍したるも の)(其他卑金屬を 鍍したるもの)	1	—	4	—	—	—	—	31	—	—	25	61	2,185
鐵線	32	—	59	20	1	—	20	58	—	—	—	190	3,617
リード・ワイヤ	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	2	8
鐵リボン	62	33	195	11	1	—	20	35	—	—	—	357	5,372
帶(箍鐵)	55	427	696	2,821	—	—	—	4	5	—	12	4,020	45,005
パラゴン・ワイヤ	24	—	7	—	—	—	—	—	—	—	—	31	181
線索	7	—	23	—	—	—	—	—	—	—	2	32	503
撚合線	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1	44
バーブド・ツイス ト・ワイヤ	—	3	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
鐵筒及管	113	—	112	—	—	—	—	495	—	—	—	724	28,201
特殊鋼(稅表一)	9	—	2	—	75	—	36	—	5	—	2	149	2,054
〃(稅表二)	9	—	1	—	7	—	23	—	—	—	—	40	1,226
鐵道車輛用軸	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2	234
鐵道車輛用タイヤ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	585
鐵道車輛用 ス プ リ ン グ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
合計	1,697	1,307	5,547	3,909	276	—	538	3,653	12	—	439	17,378	428,709
フェロ・マンガニース	174	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	174	2,131
フロエシリコン及シリコス ビーゲルアイゼン	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	60
其他の不可 鍛成鐵合金	5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	7	559
シートパー (ティンバーを含む)	—	900	305	463	—	—	—	—	—	—	—	1,668	62,340
インゴット・ブルーム・ ピレット及スラップ	—	—	17	—	16	—	—	—	—	—	—	33	7,010
ケツグスチール及 パンプスチール	—	—	—	—	—	—	34	—	—	—	—	34	402
其他の塊及錠鐵	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
合計	179	900	324	463	16	—	34	—	—	—	—	1,916	72,503
銑屑及故鐵	51	—	—	—	—	—	502	105	16,324	7,662	6,972	31,616	405,828
	7,059	—	—	—	—	15	—	4,905	906	1,101	4,625	18,611	489,098

昭和5年12月中棒鋼寸法別揚地別引度高表

(單位噸)

區分 寸法	丸 鋼								合計
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼				
	阪神揚	京濱揚	其他	計	阪神揚	京濱揚	其他	計	
6mm	—	—	—	—	—	—	3	3	3
8	—	—	—	—	—	—	1	1	1
9	1,445	731	150	2,326	—	—	49	49	2,375
10	—	—	—	—	—	—	2	2	2
10.5	—	—	—	—	—	—	2	2	2
11	10	—	—	10	—	—	—	—	10
12	—	—	93	93	—	—	7	7	100
13	—	—	—	—	—	—	50	50	50
16	—	—	—	—	—	—	57	57	57
19	—	—	—	—	—	—	57	57	57
20	—	—	—	—	—	—	12	12	12
22	—	—	—	—	—	—	92	92	92
25	—	—	—	—	—	—	104	104	104
26	—	—	—	—	—	—	8	8	8
28	—	—	—	—	—	—	48	48	48
29	—	—	—	—	—	—	1	1	1
32	—	—	—	—	—	—	51	51	51
36	—	—	—	—	—	—	29	29	29
38	—	—	—	—	—	—	12	12	12
44	—	—	—	—	—	—	23	23	23
48	—	—	—	—	—	—	5	5	5
50	172	39	30	241	—	—	2	2	243
55	203	19	15	237	—	—	—	—	237
60	119	20	5	144	—	—	3	3	147
65	279	37	10	326	—	1	3	4	330
70	80	10	5	95	—	—	—	—	95
75	151	47	27	225	—	—	33	33	258
80	86	5	5	96	—	—	—	—	96
85	31	—	—	31	—	—	—	—	31
90	120	20	15	155	—	—	2	2	157
95	45	7	5	57	—	—	—	—	57
100	61	43	10	114	—	2	4	6	120
130	—	—	—	—	—	—	6	6	6
150	—	—	—	—	—	—	2	2	2
200	—	—	—	—	—	—	8	8	8
丸鋼計	2,802	978	370	4,150	—	3	676	679	4,829

區分 寸法	角 鋼								合計	
	民間向普通鋼				規格品及特殊鋼					
	阪神揚	京濱揚	其他	計	神阪揚	京濱揚	其他	計		
9mm	—	—	—	—	—	—	100	100	100	
12	55	—	30	85	—	—	—	—	85	
16	65	10	19	94	—	—	—	—	94	
19	40	—	20	60	—	—	—	—	60	
22	10	—	10	20	—	—	—	—	20	
25	16	—	14	30	—	—	—	—	30	
28	5	—	20	25	—	—	—	—	25	
32	105	—	20	125	—	—	2	2	127	
36	1	—	—	1	—	—	—	—	1	
38	105	—	20	125	—	—	1	1	126	
40	5	—	—	5	—	—	—	—	5	
44	50	—	—	50	—	—	—	—	50	
46	2	—	—	2	—	—	—	—	2	
50	53	—	10	63	—	—	4	4	67	
60	1	—	—	1	—	—	—	—	1	
65	10	—	—	10	—	—	—	—	10	
75	14	—	7	21	—	—	—	—	21	
80	—	—	—	—	—	1	1	2	2	
90	—	—	—	—	—	—	2	2	2	
100	34	—	8	42	—	—	2	2	44	
角鋼計	571	10	178	759	—	1	112	113	872	
平 鋼										
19mm	122	30	65	217	—	—	—	—	217	
22	115	25	20	160	—	—	—	—	160	
25	110	10	55	175	—	—	—	—	175	
32	131	35	64	230	—	—	—	—	230	
38	—	—	17	17	—	—	2	2	19	
44	—	—	7	7	—	—	2	2	9	
50	—	—	18	18	—	—	10	10	28	
55	—	—	4	4	—	—	—	—	4	
65	24	31	70	125	—	—	1	1	126	
75	195	3	10	208	—	—	1	1	209	
80	1	—	—	1	—	—	1	1	2	
90	61	1	—	73	—	—	—	—	73	
100	79	7	11	101	—	—	—	—	101	
125	35	—	15	35	—	—	1	1	36	
3 $\frac{3}{8}$ "	50	—	—	50	—	—	—	—	50	
平鋼計	923	142	356	1,421	—	—	18	18	1,439	
合計	4,296	1,130	904	6,330	—	—	4	806	810	7,140

昭和5年12月中當所製品揚地別發送高

(單位噸)

品名 \ 區分	揚 地 別													合 計
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸四國地方	奧羽地方	關門九州地方	北海道樺地方	滿鮮關東地方	支那	臺灣	其他	
鋼材 { 官廳	803	240	131	2	274	261	—	310	—	9,130	—	40	305	11,501
鋼材 { 民間	19,386	13,592	5,182	2,045	315	—	90	73	621	1,315	207	94	—	42,920
鋼材 { 計	20,194	13,832	5,313	2,047	589	—	90	383	621	10,445	207	134	305	54,421
鋼片及鋼塊	—	337	1,946	—	—	1,480	—	1,195	—	—	—	—	—	4,958
副製品	29	93	19,693	195	—	1,424	—	4,252	—	—	—	—	—	25,686
合計	20,223	14,262	26,952	2,242	589	3,165	90	5,830	621	10,445	207	134	305	85,065

## 昭和6年1月當所製品揚地別發送高

(單位噸)

品名/區分	揚地別													合計	
	阪神地方	京濱地方	當所渡	伊勢灣東海地方	山陰北陸地方	內海沿岸地方	沿國地方	奧羽地方	關門九州地方	北海道樺太地方	滿關東地方	鮮州地方	支那		臺灣
鋼材	官廳	432	372	42	2	351	38	—	826	—	3,613	—	626	—	6,305
	民間	16,791	11,511	4,069	1,336	694	—	—	318	16	1,014	361	195	—	36,305
鋼片及鋼塊	243	15	2,836	—	—	5,243	—	1,445	—	—	—	—	—	9,782	
副製品	19	111	12,186	—	—	746	—	2,442	—	—	—	—	—	15,504	
合計	17,485	12,009	19,133	1,338	1,048	6,027	—	5,031	16	4,627	361	821	—	67,896	

## 昭和5年12月契約高

(單位噸)

品種/區分	官廳小計		民間小計		12月中合計		噸當	本年度累計		噸當
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額		噸數	金額	
大 條	206	18,284	5,607	350,491	5,813	368,775	63 <sup>44</sup>	46,186	3,538,469	76 <sup>61</sup>
中 條	25	3,267	4,716	257,268	4,741	260,535	54 <sup>95</sup>	19,045	1,506,407	79 <sup>10</sup>
小 條	55	6,718	7,696	406,759	7,751	413,477	53 <sup>34</sup>	41,575	2,724,993	65 <sup>54</sup>
鋼板	152	25,194	7,191	456,849	7,343	482,043	65 <sup>65</sup>	73,720	5,943,824	80 <sup>63</sup>
重軌條及附屬品	16,589	1,535,723	4,054	357,423	20,643	1,893,146	91 <sup>71</sup>	146,698	13,636,281	92 <sup>96</sup>
輕軌條及附屬品	475	45,795	2,030	143,014	2,555	188,809	73 <sup>80</sup>	14,119	1,216,705	86 <sup>18</sup>
線材	—	—	15,005	1,003,285	15,005	1,003,285	66 <sup>86</sup>	58,855	4,381,090	74 <sup>44</sup>
黑板、硅素鋼板	9	1,880	1,233	228,729	1,242	230,609	185 <sup>68</sup>	30,781	5,813,968	188 <sup>88</sup>
軋力板	129	36,493	68	9,969	197	46,462	235 <sup>85</sup>	4,462	1,122,628	251 <sup>60</sup>
車軸外輪鍛成品	—	—	—	—	—	—	—	783	112,646	143 <sup>86</sup>
工具鋼、特殊鋼	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
其他鋼材小計	90	10,263	—	—	90	10,263	—	182	31,282	171 <sup>88</sup>
鋼片、鋼塊	17,730	1,683,617	47,650	3,213,787	65,380	4,897,404	114 <sup>03</sup>	436,406	40,028,293	91 <sup>72</sup>
鋼シート	—	—	20,025	1,135,840	20,025	1,135,840	74 <sup>91</sup>	62,238	3,693,848	59 <sup>35</sup>
以上計	17,730	1,683,617	67,675	4,349,627	85,405	6,033,244	56 <sup>72</sup>	498,644	43,722,141	87 <sup>68</sup>
短尺及層鋼	59	2,788	4,979	248,268	5,038	251,056	70 <sup>64</sup>	32,522	1,764,199	54 <sup>25</sup>
以上計	17,789	1,686,405	72,654	4,597,895	90,443	6,284,300	49 <sup>83</sup>	531,166	45,486,340	85 <sup>63</sup>
副製品	—	19,606	—	371,753	—	391,359	—	—	3,231,522	—

## 昭和6年1月契約高

(單位噸及圓)

品種/區分	官廳小計		民間小計		1月中合計		噸當	本年度累計		噸當
	噸數	金額	噸數	金額	噸數	金額		噸數	金額	
大 條	41	4,541	7,879	458,271	7,920	462,812	58 <sup>44</sup>	54,106	4,001,281	73 <sup>95</sup>
中 條	138	14,102	5,654	301,170	5,792	315,272	54 <sup>43</sup>	24,837	1,821,679	73 <sup>35</sup>
小 條	14	1,669	11,308	579,200	11,322	580,869	51 <sup>30</sup>	52,897	3,305,862	62 <sup>50</sup>
鋼板	261	33,579	11,071	635,905	11,332	669,484	59 <sup>08</sup>	85,052	6,613,308	77 <sup>76</sup>
重軌條及附屬品	—	—	855	80,847	855	80,847	94 <sup>56</sup>	147,553	13,717,128	92 <sup>96</sup>
輕軌條及附屬品	1,073	109,101	—	—	1,073	109,101	101 <sup>68</sup>	15,192	1,325,806	87 <sup>27</sup>
線材	—	—	65	5,380	65	5,380	82 <sup>77</sup>	58,920	4,386,470	74 <sup>45</sup>
黑板、硅素鋼板	—	—	4,618	809,482	4,618	809,482	175 <sup>29</sup>	35,399	6,623,450	187 <sup>11</sup>
軋力板	—	—	128	14,105	128	14,105	110 <sup>19</sup>	4,590	1,136,733	247 <sup>65</sup>
車軸外輪鍛成品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
工具鋼、特殊鋼	—	—	204	47,656	204	47,656	233 <sup>61</sup>	987	160,302	162 <sup>41</sup>
其他鋼材小計	1,527	162,992	41,782	2,932,016	43,309	3,095,008	71 <sup>46</sup>	479,715	43,123,301	89 <sup>89</sup>
鋼片、鋼塊	—	—	5,700	272,970	5,700	272,970	47 <sup>89</sup>	67,938	3,966,818	58 <sup>39</sup>
鋼シート	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
以上計	1,527	162,992	47,482	3,204,986	49,009	3,367,978	68 <sup>72</sup>	547,653	47,090,119	85 <sup>99</sup>
短尺及層鋼	50	1,900	2,626	114,232	2,676	116,132	43 <sup>40</sup>	35,198	1,880,331	53 <sup>42</sup>
以上計	1,577	164,892	50,108	3,319,218	51,685	3,484,110	67 <sup>41</sup>	582,851	48,970,450	84 <sup>02</sup>
副製品	—	6,783	—	199,892	—	206,675	—	—	3,438,197	—



昭和5年11月民間棒鋼生産高表

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸	鋼	21	12	48	14	角	鋼	平	鋼	3	21
		22	5,580	50	190	$\frac{7}{16}$ "	4	$\frac{7}{8}$ "		$3\frac{1}{4}$	15
6m/m	172	25	4,574	54	63	$\frac{3}{4}$ "	8	1	29	4	11
8	4	28	580	55	18	$\frac{7}{8}$ "	2	1	172	5	26
9	407	29	6	57	5	1	3	$1\frac{1}{8}$ "	86	其他	44
11	7	32	1,047	63	72	$1\frac{1}{8}$ "	4	$1\frac{1}{4}$ "	33	其計	2,055
12	7,611	36	220	65	55	2	1	$1\frac{3}{8}$ "	25		
14	22	38	250	75	27	$2\frac{1}{2}$ "	27	$1\frac{1}{2}$ "	217	總計	36,324
16	6,267	41	6	其他	1,286	3	10	$1\frac{3}{4}$ "	231		
17	2	42	122	其計	34,209	其他	1	2	741		
19	5,402	44	158	計		其計	60	$2\frac{1}{2}$ "	404		

昭和5年12月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種/區分	神戸	大阪	横濱	12月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
丸角	581	315	58	954	526	19,553	62,314
鋼	24	7	19	50	159	2,219	6,034
平	121	—	92	213	386	9,301	15,965
等	43	—	—	43	293	8,036	17,911
不	55	—	—	55	129	4,914	4,609
溝	1	—	266	267	17	4,809	9,624
工	—	—	—	—	40	8,699	23,325
鋼板(0.7mm超)	48	—	37	85	647	36,536	49,694
"(0.7mm以下)	915	407	81	1,403	685	29,451	80,461
軾軌線	569	695	1,383	2,647	1,726	51,539	66,956
力條材	7	—	124	131	173	9,531	30,639
線	1,915	380	237	2,532	2,017	60,623	141,728
シート	2,511	—	592	3,103	2,300	28,849	23,126
パイ	104	63	382	549	824	23,823	60,552
鋼其	133	69	227	429	1,428	20,384	31,442
計	7,027	1,936	3,498	12,461	11,368	318,267	624,380
硫石	—	—	626	626	—	—	—
炭	15	—	—	15	15	—	—
フ	168	9	—	177	177	—	—
ナ	—	—	24	24	—	—	—
ク	—	—	—	—	—	—	—
レ	—	—	—	—	—	—	—
ゾ	—	—	—	—	—	—	—
ール	—	—	—	—	—	—	—

昭和6年1月中三港鋼材輸入數量表

(單位噸)

品種/區分	神戸	大阪	横濱	1月計	前月計	本年累計	前年 同期累計
丸角	214	140	80	434	954	3,329	3,329
鋼	12	41	1	54	50	591	591
平	100	—	74	174	213	1,857	1,857
等	—	—	—	—	43	2,736	2,736
不	42	—	60	102	55	802	802
溝	—	—	59	59	267	729	729
工	132	264	—	336	—	2,247	2,247
鋼板(0.7m/m超)	125	15	53	193	85	7,347	7,347
"(0.7m/m以下)	315	40	46	401	1,403	3,670	3,670
軾軌線	356	239	1,716	2,311	2,647	4,846	4,846
力條材	5	—	98	103	131	1,524	1,524
線	2,200	294	407	2,901	2,532	6,197	6,197
シート	866	—	—	866	3,103	1,537	1,537
パイ	255	85	353	693	549	3,247	3,247
鋼其	341	24	107	472	429	2,448	2,448
計	4,963	1,142	3,054	9,159	12,461	43,101	43,101
硫石	101	—	514	615	—	—	—
炭	28	—	—	28	28	—	—
フ	—	—	—	—	—	—	—
ナ	—	—	—	—	—	—	—
ク	—	—	—	—	—	—	—
レ	—	—	—	—	—	—	—
ゾ	—	—	—	—	—	—	—
ール	17	—	—	17	—	—	—

昭和5年12月中當所品種寸法別生産高

(單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		130	16	6×3	55	1'6	1,833	縞鋼板		防楯鋼板	2
丸鋼		140	8	7×3	19	1'7	3	3'2m/m	3	普通鋼板	7
		150	22	7×3½	61	1'8	10	4'5	87	鍛成鋼品	22
m/m		計	1,178	8×3½	19	1'85	77	6	129	鍛成鋼品	9
5'5	2	平鋼		8×3	49	1'9	2	8	7	電氣爐鋼	
9	1,468			8×3½	80	2	42	9	2		
10	33	m/m	5	計	1,853	2'3	481	計	228	<b>其他鋼計</b>	<b>540</b>
12	65			工形鋼		2'4	7	電氣鐵板			
13	10			m/m m/m		2'5	40	m/m		<b>鋼材總計</b>	<b>54,504</b>
15	13			150×75	198	2'6	2	0'35	312		
16	78			300×150	3,074	2'9	17	0'43	24		
18	7			350×150	354	3	24	計	336		
19	35			7'×4'	19	3'17	4	耳付鋼板			
22	88			18×7	192	3'2	515	4'5m/m	325		
25	101			20×7½	716	3'5	52	6	57		
28	48			計	4,553	3'6	10	計	382		
32	30			T形鋼		4	151	鉞力板			
36	28			6'×4'	72	4'5	338	B. W. G. No			
38	34			計	72	5	157	29	369		
40	20			Z形鋼		5'5	23	30	839		
41	3			m/m m/m m/m		6	202	31	268		
42	9			40×70×50	31	6'3	3	33	758		
44	34			計	31	6'5	9	95 lbs	49		
45	4	八角鋼		型鋼計	10,803	7	61	計	2,283		
48	12	25m/n	2	條鋼合計	16,368	7'5	3	未剪斷鋼板			
50	147	計	2			8	131	計	644		
55	92					8'5	12	二級品鋼板			
60	75					9	171	計	56		
65	160	棒鋼合計	5,565			9'5	9	疵物鋼板			
70	123					10	245	計	81		
75	120					10'5	2				
80	71					11	77				
85	29					11'5	8	鋼板合計	12,589		
90	113					12	134				
95	35					13	36				
100	45					14	76				
115	16					15	13				
120	27					16	80				
125	8					18	24				
計	3,183					19	11				
角鋼						20	11				
m/m						22	17				
9	115					25	96				
12	108					29	3				
14	88					38	2				
16	46					45	10				
19	10					50	13				
22	96					½"	1				
25	14					計	5,529				
28	9										
32	142										
38	70										
44	8										
46	3										
50	149										
55	8										
65	184										
75	12										
90	23										
100	36										
120	11										

昭和5年12月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>				<b>型鋼の部</b>		<b>鋼板の部</b>		<b>軌條及附屬品の部</b>		<b>線材の部</b>			
丸	銅	3½	1	等邊山形鋼		鋼板 (0.7m/m超)		軌	條	線	材		
5/32"	20	3¾	1	造船材料		1½"	5	18lbs	29	5/8"		2	
3/16	41	4	1	65m/m	1	1/16	30	12	95	5/32		5	
¼	50	計	72	75	5	3/8	2	60K	7	3/16		5	
5/16	30	角	948	90	3	W.G.B.No.		計	131	¼		1	
3/8	3	5/16"	1	130	2	11	1	繼	目	板		1	
7/16	2	3/8	4	150	12	12	1	板		3m/m		1	
1/2	29	7/16	2	160	20	13	3	計	2	4		2	
9/16	1	1/2	4	計	43	15	1	lbs用	2	4.5		2	
5/8	9	5/8	3	不等邊山形鋼		16	12	18	2	5		2	
11/16	4	3/4	2	造船材料		18	1	計	2	B.W.G.No		640	
¾	9	7/8	2	3½" x 3"	3	19	1	軌附合計	133	6		210	
1	57	1¼	5	m/m/m/m	10	20	3	鋼管の部		5		1,343	
1 1/8	63	1½	4	100x75	3	1m/m	15	鋼	管	4		25	
1 1/4	33	1¾	4	100x90	10	1.7	10	½"	70	2		127	
1 3/8	21	2	2	130x90	3	計	85	¾"	125	0		61	
1 1/2	4	2 1/2	2	150x75	1	鋼板(0.7m/m以下)		1	77	00		102	
1 3/4	4	4 1/2	2	150x90	5	sheets		1 1/4	4	<b>線材合計 2,530</b>			
2	53	5	3	150x90	27	6	14	1 1/2	25	<b>其他鋼材の部</b>			
2 1/8	6	計	48	165x75	1	7	14	1 3/4	4	特	殊	鋼	
2 1/4	31	平	鋼	200x90	1	8	23	2	10	丸	鋼	152	
2 1/2	19	1/2"	5	225x90	1	10	23	2 1/4	2	角	鋼	18	
2 3/4	14	3/4"	33	280x90	1	11	11	2 3/8	7	平	鋼	47	
3	14	7/8"	28	300x90	1	12	19	3 1/4	12	鋼	板	18	
3 1/4	6	1	28	計	54	13	199	計	1	其他		11	
4	23	1 1/4	22	球山形鋼		24	3	鋼管合計	65	12 1/4		35	
4 1/4	2	1 1/2	2	造船材料		28	80	シ	1	12		2,900	
4 1/2	17	1 3/4	1	m/m/m/m		30	1,013	ト	9	10		33	
4 3/4	17	2	26	130x65	1	計	1,399	バ	24	10 3/4			
5	27	1 5/8	26	165x75	1	電氣鐵板		ピ	24	12			
5 1/4	16	1 3/4	31	185x75	7	0.014"	51	レ	24	12 3/4			
5 1/2	17	2	5	200x90	6	0.02	10	ット	10	14			
6	39	2 1/4	3	200x75	1	0.035m/m	25	ス	10	48m/m			
6 1/4	16	2 1/2	1	230x90	4	0.5	51	チ	12	63.5			
6 1/2	18	2 3/4	1	250x90	1	1	10	ェ	12	76			
7	16	3	4	計	21	計	147	ツ	23	101			
7 1/2	16	5	1	溝形鋼		100lbs	15	グ	23	pipe			
8	14	6	5	大型諸寸法	266	170	77	スチール	24	fittig			
8 1/2	16	130	5	計	266	sheets		鋼材總計	12,444				
9	15	其他	2	パイピングシート		50	12	シ	3				
10	16	計	214	計	3,103	60	61	ト	3				
135	1	六角鋼	3	型鋼計	3,487	70	13	バ	2				
155	1	計	3	條鋼合計	4,707	80	5	ピ	2				
計	876	其他の棒鋼	7	鋼板合計	4,279	100	13	レ	2				
造船材料		造船材料		鋼板合計		mixed	164	ット	10				
2 5/8"	64	計	7	鋼板合計		oilsize	1,093	スチール	19				
2 7/8	2	棒鋼合計	1,220			others	1,051						
3	1					計	2,648						
3 1/8	2					鋼管合計	549						